

新議長・副議長が決まりました

9月18日の定例会最終日に、山野井議長から議長辞職願が、小堤副議長から副議長辞職願がそれぞれ提出されました。議長及び副議長の選挙を行い、投票の結果、染谷議員が議長に、関川議員が副議長に就任しました。新しい議長・副議長の氏名や今後の抱負などをご紹介します。

新議長

そめや かずひろ
染谷 和博

年齢：65歳
会派：公明党
住所：新町4-10-24
電話：0297-72-8396



私は、全国屈指とされる取手市議会の「議会改革」をさらに質的に向上させ、市民の皆さまの声を原動力とした、未来へ希望の持てる持続可能なまちづくりを推進してまいります。

本市議会はデジタル技術（デモテック）の活用で高い評価を得てきましたが、今後はこれらを駆使していかに多様な市民意見を効率的に集約し、実効性のある政策へと昇華させるかが真の課題です。「市民に分かりやすく、開かれた議会」として二代表制の一翼を担う責任を果たします。

本市は桑原地区活力創造拠点整備推進事業や取手駅西口A街区地区第一種市街地再開発事業、激甚化する気象災害への防災強化、少子高齢化に伴う子育て支援の拡充など、極めて重要な局面を迎えています。市民の皆様の安心安全と利便性向上に向け、議会主導の調査と活発な議論を通じて、市執行部への適切な提言をしてまいります。

新副議長

せきかわ かける
関川 翔

年齢：40歳
会派：みらい
住所：山王117-1
電話：0297-86-6677



私は、副議長の役割は、議長を支えるとともに議会全体を見渡し、議員一人一人の立場や考えを尊重しながら活発な議論ができる環境をつくることにあると考えます。

議会には様々な意見があるからこそ、会派や立場を超えて議論を重ね、市民の負託に応えることが重要です。私が大切にしてきた言葉は「^{ゆうおうまいしん}勇往邁進」、困難を恐れず目標に向かって勇敢に進むという意味です。課題から逃げず、市民に何が必要かを考え、信念を持って前へ進む姿勢を副議長としても貫き、議会の円滑な運営と活性化、市民からより信頼される議会づくりに取り組みます。

これまで培ってきた経験を生かしながらも、経験に甘えず新たな課題に挑戦し、取手市議会の発展と市民の皆さまのために全力で職責を果たすことをお誓い申し上げ、所信といたします。

「日本経済の現状と展望」をテーマに議員研修会を開催



10月9日、令和8年度第1回目となる議員研修会を開催し、議員21名が受講しました。

講師に株式会社マネネCEO・経済アナリストの森永康平氏をお迎えし、「日本経済の現状と展望」をテーマに御講義いただきました。森永先生からは、日本経済の状況をデータで確認しながら、金融政策・財政政策の役割、インフレの種類とその対策などについて、お話がありました。今回学んだことを、今後の議会活動に生かしてまいります。

